

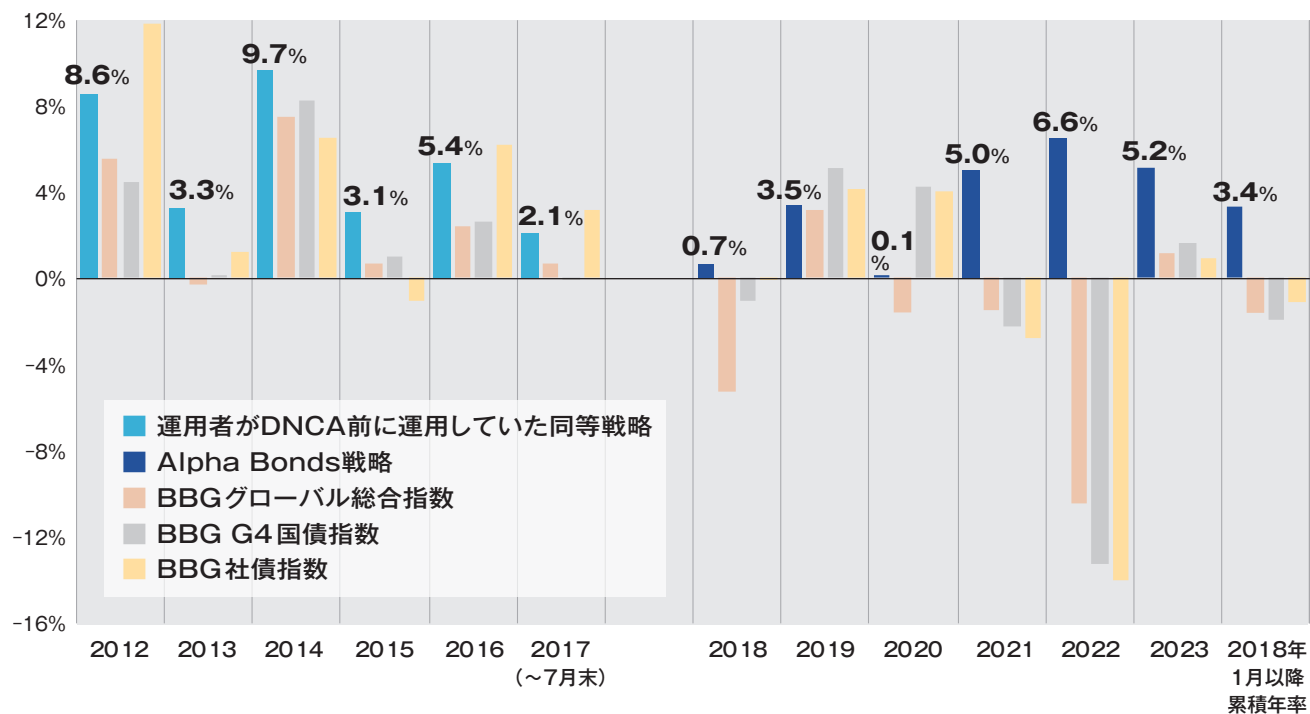
DNCA社の運用するAlpha Bonds戦略

Alpha Bonds戦略は、2000年パリ創業のDNCA社が運用する債券アンコンストレインド戦略です。クレジットへの投資を抑制しつつ、先進国国債を中心とした世界中の流動性の高い証券によって分散投資し、名目金利や物価調整後の実質金利、インフレ率などの上昇・下落を主な収益源とします。またマクロ経済指標などから世界各国の景気・金利・物価等の方向性を分析し、定量的なバリュエーション分析で収益獲得の確度を上げつつ、ポートフォリオのデュレーションを-3年から+7年の間で機動的に変更する運用で、安定した収益の獲得を目指します。

Alpha Bonds戦略の運用実績

Alpha Bonds戦略の運用開始は2017年12月ですが、運用チームは同等戦略を他の運用会社で2012年から運用していました。過去11年以上にわたり、金利の上昇・下落局面といった金利サイクルに左右されにくい運用を重ね、継続して安定したプラスのリターンを実現し続けています。

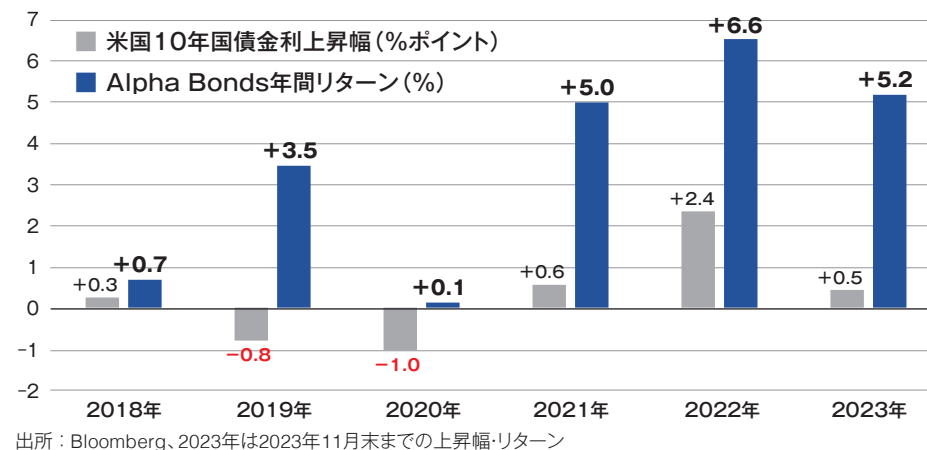
代表的な指数とAlpha Bonds戦略のパフォーマンス比較



出所：Bloombergの暦年データ。運用者がDNCA前に運用していた同等戦略はLa Française Multistratégies Obligataires（ユーロ建）。BBG G4 国債指数はBloomberg Global Treasury G4 TR Index、BBG社債指数はBarclay Global Aggregate Corporate TR Indexでいずれもユーロヘッジベース。2017年は運用チームがラ・フランセ社からDNCA社へ移籍する2017年7月31日まで、2023年は2023年11月30日までの数値。累積はDNCA Alpha Bonds戦略のみの期間（2018年1月～2023年11月末）
注：上記は運用戦略の紹介を目的としており、記載されているファンドは参考としての掲載であり当該ファンドの勧誘を目的としていません。過去のパフォーマンスは将来の成果を保証するものではなく、投資目的を達成することを示唆するものではありません。

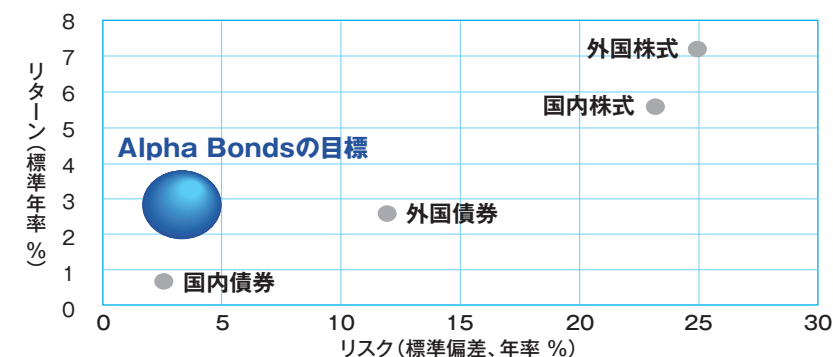
金利の方向性に左右されにくいAlpha Bonds戦略のリスク・リターン特性

こちらの図で確認できるように、金利の上昇・低下のいずれの局面においても安定したパフォーマンスを実現しており、その結果、BBGグローバル総合との相関も0.08（月次、2023年11月末）と低くなっています。



Alpha Bonds戦略のリスク・リターン特性

Alpha Bonds戦略はBBGグローバル総合（円ヘッジベース）とほぼ同じリスク水準であり、BBGグローバル総合よりも高いポートフォリオの流動性を維持しています（Bloomberg流動性スコアでの比較）。



出所：GPIF（各資産の期待リターン、リスクはGPIFの基本ポートフォリオ策定に用いられている数字）

安定収益底上げと債券の分散に寄与できるAlpha Bonds戦略

ヘッジ付外債指数と同等のリスク水準、金利に左右されにくいパフォーマンス、高い流動性といった特徴をご評価いただき、今年に入ってから日本の機関投資家様だけで既に150億円を超えるご投資を頂いています（2023年9月末時点、ナティクシス・インベストメント・マネージャーズとの投資一任契約以外の投資金額も含みます）。ポートフォリオの収益底上げ、並びに債券ポートフォリオの分散としてAlpha Bonds戦略をご検討頂けたら幸いです。

お問い合わせ先：岸浪 e-mail：contact_ad_tokyo@natixis.com 電話：03-6834-2978

当記事は、機関投資家に対して情報提供のみを目的として作成しており、金融商品取引法に基づく開示書類あるいは勧誘等を目的としたものではありません。当記事の内容は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成されておりますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。また、過去の実績は将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。本戦略は、お客様との投資一任契約に基づき当社が当該契約口座内で投資を行うことを前提としています。金融商品取引業に関するお客様にご負担頂く手数料等には報酬及び有価証券の売買手数料等の諸費用等がありますが、それらの報酬及び諸費用の種類ごと及び合計額の金額・上限額・計算方法は、投資戦略、投資対象などの組み合わせ及び運用資産の規模等により異なりますので表示することが出来ません。運用資産は、価格変動リスク、流動性リスク、信用リスク等を被ることがあり、また外貨建て資産に投資する場合には、為替変動リスクを伴います。従いまして投資元本は保証されているわけではありません。投資一任契約に係るリスクや費用は、個別の一任契約により異なりますので、ご契約にあたっては、関連書面をよくお読み下さい。

